

生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います。

まほろば

2017.6
第190号

平成29年度看護週間イベント 「みんないっしょ弘前病院」



5月25日「みんないっしょ弘前病院」をスローガンにして看護週間イベントを開催しました。

今年のイベントは、藤院長の健康講話「口コモ予防・転ばぬ先の杖」をはじめとし、簡単な口コモ予防体操、BMI・肥満度・骨密度・血管年齢測定や薬剤師・栄養士による健康相談等を企画しました。実際に測定を受けた方は、測定値に「思ったより若い。でもこの値は要注意」、口コモ予防体操を体験して「思ったより身体が固い、日頃の心がけが大切」と一喜一憂される姿がみられました。この日一日で延べ280名の入院・外来患者さん・ご家族に来場いただきました。

当院の看護師はじめコメディカルスタッフ、事務職員は、患者さんにとって安心と安らぎのある弘前病院であると感じて頂きたいという願いを込めて企画・運営に取り組んできました。

脱「短命県青森」を目指して、これからも、弘前病院の職員が一丸となり、当院をご利用頂く皆様、地域の皆様へ情報発信していきたいと思います。

実行委員長 副看護師長：櫛引 まり子



平成29年度看護週間イベント『イブニングコンサートを開催』



5月25日（木）看護週間イベントの一環として、地元で活躍するバンド「ビートパンチヨス」をお迎えしてのイブニングコンサートが開催されました。多くの入院患者さんやそのご家族で会場の機能訓練室はいっぱいとなり熱気にあふれています。約30分の短時間ではありましたが懐かしいビートルズソングに会場からは自然と手拍子が起り、リズムを取ったり一緒に口ずさんだり、涙する光景が見られ、私達職員にとっても感動のコ

ンサートになりました。終了後、患者さんからビートパンチヨスさんへ「まさか入院中に生バンドの演奏が聞けるとは思わなかった。とても感激しました」と花束が渡され、患者さんの回復を願いみんないつしょになった時間となりました。

実行委員 副看護師長：川村 麻紀子



核医学検査の現状

先日、「第7回 あおもり核医学技術フォーラム」に参加しました。

その勉強会で、白河厚生総合病院放射線部の小室敦司先生による「塩化ラジウム（Ra-223）内用療法の運用とイメージング」についての特別講演を聞くことができました。

塩化ラジウム内用療法とは平成28年3月28日に承認されたばかりの、去勢抵抗性前立腺癌の骨転移に対する治療方法です。県内でも導入が進み青森県立中央病院と弘前大学医学部附属病院で施

行されています。

バセドウ病及び甲状腺癌の治療に対する放射性ヨウ素（I-131）による治療から始まり、放射性医薬品の内用療法は病気の治療から疼痛緩和ケアまで種類や幅がまだまだ増えていくでしょう。それに伴い核医学検査や放射線管理施設の重要性はこれからもますます高まると考えています。

核医学検査の「病気をみつける」から「病気を治療する」という次のステージへの躍進を垣間見ることが出来ました。

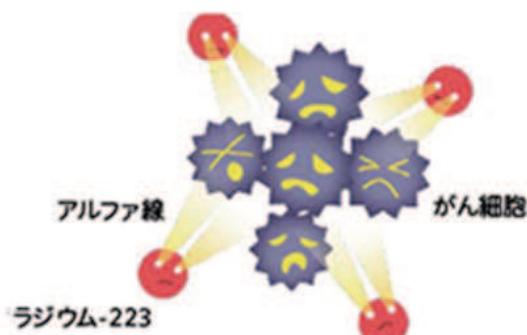
放射線技師：境 茜

ゾーフィゴ[®]静注の働き方（イメージ）

①放射性物質のラジウム-223が、代謝が活発になっている骨の転移巣に集まります。



②ラジウム-223から放出されるアルファ線の力によって、骨に転移したがん細胞の増殖を抑えます。



栄養管理室ニュース

自慢の一品② カレーライス

最近暑い日が続き、早くも夏バテぎみの方もいるのではないか？食欲のないときでもカレーなら食べられるという方も多いと思います。今回は当院のカレーライスを紹介します。

この日はじゃがいも、にんじん、たまねぎ、豚肉が“ごろごろ”と入った家庭的なカレーでした。当院のこだわりとして、ニンニクや生姜を入れ香りをよくし、コクを出すため数種類のルーを使い、大きな釜でじっくりと煮込んで作っています。食事アンケートでもカレーの日

をもっと増やしてほしいなどの意見が多く、人気メニューの一つです。

カレーにはたくさんのスパイスが使われており、それぞれ効能があります。例えば、ターメリック（ウコン）は肝機能を強化してくれる働きが、クミンには食欲増進、消化促進効果が期待できます。カレーはおいしいだけでなく、からだに嬉しい効能もあるのですね。

栄養士：滝川 桃子



研修医便り

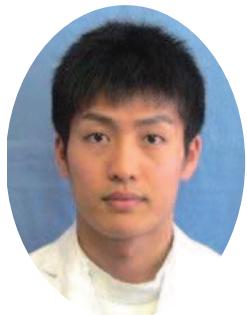
1年目研修医の奥瀬諒と申します。出身はむつ市で、小学生の頃から野球をやってきました。初期研修のスタートは小児科からで、4月から6月までの3ヶ月間じっくりと研修させていただくことになりました。初めは慣れないことばかりでしたが、小児科の先生方の熱いご指導とたくさんの子どもたちに囲まれながら充実した日々を過ごしております。

小児科での研修もすでに2ヶ月が経過し、残すはあと1ヶ月となりました。4月の終わりころからは、外来での薬の処方や入院患者の管理を学ぶ機会が増え、学生の頃に教科書では学ぶことができなかった生きた知識を得ることができます。

小児科の後は血液内科、外科、呼吸器内科

と研修が続いていきます。小児科で学んだことを他科でも生かし、さらに多くのことを吸収していきたいと思います。知識も技術もまだまだ未熟ではありますが、これからもご指導よろしくお願ひいたします。

初期臨床研修医：奥瀬 諒



外来診療一覧

◆外来医師診療一覧表 (2017年6月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本秀樹	横田貴志	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹
呼吸器科		中川英之	山本勝丸	中川英之	山本勝丸	中川英之
		山本勝丸	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子
		下山亜矢子	森本武史	森本武史	—	森本武史
		—	石岡佳子	—	—	—
消化器・血液内科		松木明彦	佐竹立	佐竹立	松木明彦	佐竹立
		山口公平	山口公平	松木明彦	山口公平	山口公平
		佐藤年信	飯野勢	佐藤年信	佐竹美和	佐藤年信
		石黒陽	石黒陽	飯野勢	石黒陽	石黒陽
小児科		杉本和彦	佐藤工	佐藤啓	佐藤工	杉本和彦
		佐藤啓	岡本剛	弘野浩司	岡本剛	弘野浩司
		梅津英典	—	—	—	梅津英典
外科		柴田滋	山名大輔	柴田滋	山名大輔	三上勝也
乳腺外科		小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	櫻庭弘康	小田桐弘毅
整形外科	午前	黒瀬理恵	秋元博之	秋元博之	リウマチ外来 黒瀬理恵 一般外来は休診	秋元博之
	飯尾浩平	市川奈菜	飯尾浩平	黒瀬理恵		
	市川奈菜	太田聖也	市川奈菜	飯尾浩平		
	午後	—	—	—		休診
脳神経外科		—	—	木村正英	—	—
皮膚科	午前	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行
	午後	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲
泌尿器科	午前	●予約	●手術／検査	●予約	●手術／検査	●予約
	午後	検査	検査	手術	検査	手術
産婦人科		田中加奈子	丹藤伴江	丹藤伴江	●妊婦健診	湯澤映
		湯澤映	淵之上康平	田中加奈子	(一般外来休診)	松村由紀子
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		三國谷由貴	武田育子	—	西澤尚徳	—
		—	前田泰規	—	—	—
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	—	—	川口英夫 (午後)	—	川口英夫 (午後)
女性専用外来		杉本菜穂子(※予約制／第1・第3水曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		—	—	—	今充	—

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

患者相談窓口

『患者相談室』のM S W(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 小田桐 弘毅

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地

TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

URL <http://www.aoi-mori.net/~hirosaki/>